

清友

No.175

2024年3月
(2024年3月1日発行)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



ミツマタの群落
(丹沢西端ミツバ岳にて)

東京清掃退職者歓送会 5年ぶりに開かれる

東京清掃主催の『退職者歓送会』が2月24日、清掃会館で開かれました。新型コロナ蔓延により中断され、19年以來実に5年ぶり、中断期間の対象者も招いての開催でした。

時代を共有した仲間と

東京清掃多田委員長の「ねぎらいの言葉」、退職者会戸枝事務局長の「あいさつ」と退職者の説明」に続き、瀬瀬幹



「カンパ〜イ」瀬瀬幹事



戸枝事務局長



東京清掃多田委員長

事が「カンパイ」の音頭をとり、歓談に入りました。中断期間が長かったこともあってか、対象者の参加は6名と少なかつたのですが、多彩な方々でしたので、退職者の謝辞も本当に多彩でした。楽しい歓談の時間はあつという間に過ぎ、名残り惜しみつつ閉会しました。

会員拡大のお願い

今年、公務員の定年延長初年度ということで、定年が1年延長されますが、特例措置により60歳で辞めても定年と同様の扱いになり、退職する方も結構おられるようです。定年制度が複雑になり、退職者会への勧誘も難しい時代になりました。東京清掃各支部においては、退職者会への加入説明を精力的に行っていたきたいと思います。

また、会員の皆さんもお知り合いの退職者に会加入の声をかけていただくよう、お願い致します。退職者会を大きくすることが、高齢者・退職者の生活基盤拡充の道を切り拓くことになるからです。

笑えて、泣けて泣けて、驚いて
大衆演劇を堪能、ポッピー通りも楽しめました

2月13日、『大衆演劇を楽しむ会』を行いました。「大衆演劇?」なのか、演芸と比べて参加者は少なく13名でした。

大衆演劇っていいですね

浅草木馬館2月公演『劇団・舞姫』昼の部、当日の演し物



浅草木馬館



は『浪曲夫婦演歌』、「不治の病、愛するが故の別れ、偶然の再会と和解、そして愛する人の最期」、はじめは笑いを誘い、最後はもう泣けて泣けて、涙がとどめなし。「大衆演劇はこれだよね」というト定番。聞けば、一月の公演は昼・



夜で約50番組、演じる芝居は全て違うとのこと。13日の夜は『やくざ忠臣蔵』、14日は『新作女形狂言』と『悲恋やの字傘』という具合、驚きです。

そして、第二部は踊り。客席に降りた役者の着物の衿に何万円も…。これも驚き。

ポッピー通りもいーじゃん

帰りは近くのポッピー通りで打上げ、旨い！けど高い！浅草はすっかり観光地なんです。この経験も含めて楽しい一日でした。「大衆演劇最高！」ポッピー通りいいね。

自主グループ
低山倶楽部発足
3月12日弘法山

自主グループ『歩こう会』は、退職者会の散歩系行事が増えたこともあって休会中でしたが、「里山・丘陵歩き」を中心にした『低山倶楽部（仮称）』に変身しました。

3月12日、秦野の弘法山に行くことを考えています（行き先変更の可能性あり）。弘法大師縁の山、何やらご利益がありそう。山歩きは2時間少々ですが、一応、山ですので、Gパン・スニーカーではきつーと思います。参加される方は、戸枝 090-8681-8221へ連絡ください。



1月に行った鎌倉ハイキング『海街Diary』ロケ地衣張山

3月26日 飛鳥山公園 満開の桜とランチ宴会

今年の「お花見ウォーキング」は、徳川吉宗が開設したと伝わるサクラの名所「飛鳥山」が舞台です。多種のサクラがあるので、長い期間サクラを楽しめます。



サクラにつきものは「宴会」、王子駅付近の「とある食堂？」で行います。

思いっきり春を楽しみましょう。申込み受付中です。是非、参加ください。

- ▼開催日 3月26日(火)
- ▼場所 飛鳥山公園
10時 / 王子駅中央口集合
- ▼宴会 「とある食堂」でランチ宴会
- ▼参加費 2,000円
(アルコールなしの方は1,000円)

3月17日

「健康セミナー」 申込み締切り間近

3月の学習会は「健康セミナー」です。会員や家族のみな様の中にも、「頻尿」でお困

りの方もいると思います。原因を知り、対策を考え、症状の出ている方も軽減させる方法を見つかることが大事です。

▼開催日 3月17日(月) 13時15分開会

▼テーマ 頻尿と生活習慣病

▼講師 平野敏夫さん(東京清掃顧問医)

▼会場 清掃会館地下ホール

▼参加費 500円(懇親会に参加する方)

生活習慣病への対応も含めて、健康で長生きする方策を考えてみたいと思います。

第16回定期総会は、6月14日に開催します。清掃会館での飲食が解禁されましたので、実に5年ぶりで総会後の懇親会を行います。総会の案内は、5月初めに差上げます。案内に同封の『返信用ハガキ』に出欠(欠席の方は委任状)を記載し、返送してください。総会議案も、5月にお送りします。また、今年役員改選の総

6月14日 第16回定期総会

会です。役員を増やしたいと思っています。「我と思わん方」はよろしくお願いいたします。

「第16回定期総会」案内

- ▼開催日 6月14日(金)
 - ▼開会時間 10時15分開会
 - ▼会場 清掃会館
地下ホール
 - ▼懇親会 12時30分開始
(総会終了後)
- ※懇親会費は未定

4月22日 両国界限 散策と「本格ちゃんこ」

春の「フィールドワーク」は、「両国界限散策と本格ちゃんこ」です。すみだ北斎美術館鑑賞、野見宿禰神社等相撲関連施設見学、関東大震災・東京大空襲被災の慰霊堂、相撲博物館と盛り沢山。



メは「本格ちゃんこ」。参加費はちょっとお高い3千円ですが、お得感抜群。申込み受付を始めました。

- ▼開催日 4月22日(月)
- ▼集合 10時 / 都営大江戸線「両国」駅
- ▼コース 北斎美術館～相撲部屋～東京都慰霊堂～相撲博物館
- ▼宴会 「本格ちゃんこ」でランチ宴会
- ▼参加費 3,000円
(アルコールなしの方は2,000円)

退職者連合 213 通常国会 政策・制度要求院内集会



人見一夫退連会長 泉立民代表 玉木国民代表 福島社民党首

全力で要求の実現を！

集会の冒頭、能登地震被災者の冥福を祈り黙祷を捧げました。主催者挨拶で人見一夫

2月8日、衆院第一議員会館で『退職者連合第213回通常国会政策・制度要求実現院内集会』が開かれました。毎年、通常国会の予算審議時期にあわせ、政策と制度の要求実現へ向けて各政党に要請する取り組みです。今年も久しぶりに都庁退各単会に参加依頼がありました。

退職者連合会長は、「被災地の一日も早い復旧・復興に協力すること、自民党裏金問題徹底追及、軍拡路線反対、マイナ保険証による紙保険証廃止に反対、政権奪還」を強調、泉立憲民主党代表、玉木国民民主党代表、福島社会民主党首の挨拶を受け、エールを交わした後、連合総合政策推進局長佐保昌一さんによる『第213回通常国会における予定法案（社会保障分野）』の講演（下段参照）、最後は元気に「団結ガンバロウ」で締めました。

今通常国会予定法案（社会保障分野）の課題

- ① 医療・介護・年金の改正は、今国会の法案審議にはない。
- ▽ 診療報酬は入院時食事療養費引上げで多少良くなる。
- * 介護保険料国基準見直し（9段階から13段階）は政令改正。
- ▽ 介護老人保健施設と介護医療院多床室料金見直しも政令。
- ▽ 介護保険サービス利用時自己負担割合（2割・3割）基準見直しは、次期に先送り。
- ▽ 年金は次期制度を議論中で、来年改正案が出る。
- ② 今国会提案予定法案は、「子ども・子育て支援法等改正」。
- ▽ 子ども未来戦略「加速化プラン3.6兆円」の中身は、児童手当、妊娠・出産時支援、出産費用、大学等の負担、子育て世帯の住宅、子ども誰でも通園、育休所得拡充施策など。
- ▽ 財源は健康保険からの捻出。「歳出改革と賃上げ効果で実質の負担率を維持」「負担額は1人あたり500円」のウソツパチ。要するに、年金等で払えと…。
- ▽ 「支援金」は別掲（「課題点」のように問題だらけ。保険で対応すべきではない。税や財政全体の見直しでやるべきだ。

子ども・子育て支援金の課題点

- ① 給付と負担の関係が不明確であること
 - ☞ 給付対象とならない方が保険料負担するのは社会保険とはいえない。
 - ☞ 医療保険の被保険者以外は負担が生じない。被扶養者は対象外。
- ② 子ども・子育て支援以外にも用途が広がりかねないこと
 - ☞ 集めた財源を都合よく使うことにならないか。
 - ☞ 用途を拡大することで財源不足が生じると徴収額増加の恐れがある。
- ③ 拠出する側による意見反映の仕組みがないこと
 - ☞ 支援金を徴収し、納付する医療保険者の立場が不明確。
- ④ 新たな「支援金制度」の前例となる危険があること、など
 - ☞ 「取りやすいところから取る」手法の前例になる恐れ。

多摩全生園フィールドワークに行きました

『清掃・人権交流会』は、2月11日、東村山のハンセン病国立療養所、多摩全生園フィールドワークを行いました。

誤った対策で被害・差別拡大

ハンセン病は『らい菌』による感染症の一種です。「不治の病」とされましたが、43年には特效薬ができ、後遺症も残らず、感染力も弱く、隔離の必要は全くなくなりました。

しかし、日本では国の間違った対策が原因で、患者や家族の人権が侵害され、甚だしい偏見差別にさらされました。



『尊厳回復の碑』前にて

国主導の「強制隔離」が日本中で行なわれ、治癒後も療養所の過酷な環境に留めおかれ、亡くなっても故郷の墓に帰れない状態が長く続きました。世界的に隔離政策がなくなっても、日本では強制隔離の根拠となった『らい予防法』廃止が96年、患者・回復者・家族の血のにじむ闘いにより、ようやく国が強制隔離政策の誤りを認めたのが01年でした。

素晴らしい夫話りに感謝

まず、全生園の敷地の一角にある『国立ハンセン病資料館』に行きました。資料館は、「患者・元患者と家族の名誉回復を図るため、ハンセン病問題の正しい知識の普及啓発による偏見差別の解消を目指す」ことを目的にしており、ハンセン病に対する古代以来の偏見・差別、誤った隔離政策の歴史、苦難や被害を被った人々の体験、これらに立ち向かう

最初の姿が展示されています。最初に、映像でハンセン病や資料館の説明を受け、資料館の学芸員から詳しいお話を聞きました。続いて、多摩全生園の入居者である石野すみ子さんから、ご自身の体験を語っていただきました。



石野すみ子さんと参加者の子どもさん

石野さんは80代半ば。中学1年の時に発病し全生園に入所、比較的軽症で、入居者の男性と結婚し療養所の外で長い間暮らしていましたが、夫を亡くしたのち全生園に戻ったとのこと。様々な苦労や差別にも会いましたが、明るい口調でそうした日々を語ってくださいました。質問にも答えていただいた石野さんに、心から感謝いたします。

差別のない社会へ取り組みを

そのあとは、1時間かけて資料館の展示をじっくり見学し、雨上がりの多摩全生園の広い園内を歩きました。まっ先に行ったのは『納骨堂』。この全生園で亡くなり故郷に帰れない入居者の遺骨が納めら

れています。『尊厳回復の碑』、『旧全生学園跡』、各種宗教施設、入居者自治会のある福祉サービス棟、『永代神社』、春には満開の桜が咲き誇る『さくら公園』と見て回り、中身の濃いフィールドワークになりました。

ハンセン病に対する差別や偏見は、今もなくなっていない。これからも取り組みを進めていきます。(押田五郎記)



参加者は26名、子どもさん3名を含む家族も参加

ウクライナに平和を！ ガザに自由を！

ロシアがウクライナに侵攻してから3年目に入る2月24日、世界各国、日本各地で「ウクライナに平和を！」を求めると同時に「ウクライナ・ザポリー



ウクライナの民族楽器
バンドウーラを奏でる
カテリーナさん

ジャの現実から、戦争になれば原発が攻撃されるのは明らか。原発と人類は共存できない」等の発言がありました。

時間はずっと止まったまま

ウクライナ出身の民族楽器バンドウーラ奏者カテリーナさんは、「ロシアの侵攻から2年。私たちの時間はずっと止まっている。ウクライナには親類縁者が残り、多くの人が殺された。ウクライナの人たちは、世界を守るため戦っている」と語りました。

集会後、「ウクライナに平和を」と訴えデモ行進しました。

全く腰が引けている 日本の対ロシア経済制裁

労働者・市民レベルの「ウクライナに平和を」求める取り組みは、2年間続けられていますが、日本政府・財界の対応はどうでしょうか。G7による「ロシアへの経済制裁」に日本政府も同調しています。しかし、日本貿易振興機構の調査によると、ロシア進出企業のウクライナ侵攻以降の対応は、撤退・縮小が徐々に増えてはいるものの、依然半数近くが「ウクライナ侵攻前の状況を維持」していることが明らかにされており、日本の対応は腰が引けています。

ウクライナ経済支援の内実は借金漬けの融資大半

一方、ウクライナへの日本政府の経済支援は、約70億ドル、うち55億ドルは世界銀行拠出金、世界銀行の支援は融資なので借金、企業進出を経済的に保障するものであり、融資条件の新自由主義政策が取られるでしょう。和平後に残されるのは膨大な借金です。多くの紛争経験国が苦しんできた構図がウクライナでも

防衛省のイスラエル製無人攻撃機大量配備を許すな！

敵基地攻撃能力保有の一環として、「無人アセット防衛能力」強化が示されています。防衛省は、具体策として「小型攻撃用無人機」と「多用途・攻撃用無人機」の実証を決めました。自爆型ドローンです。しかも、運用予定の7機中5機がイスラエル製です。

「イスラエルの軍事企業との取引は、ジェノサイドへの共犯になる」という市民団体の批判等を踏まえ、伊藤忠はイスラエルの軍需会社エルビットとの協力覚書を破棄しています。何と、防衛省はそのエルビット等を介して攻撃用無人機を調達するというのです。

国際司法裁判所は「イスラエルのジェノサイド防止へあらゆる措置を取るよう」命じ



ました。防衛省の対応はイスラエル偏重でありジェノサイドへの共犯者になる行為です。断じて許せません。

軍拡・増税、暮らし破壊の悪政NO！ 裏金作りの自民党政治は退場を！ 浜矩子さん、清水雅彦さんが講演

1月31日、四谷区民ホールで「軍拡・増税、暮らし破壊、自民党政治NO！」をメインテーマに『総がかり行動実行委員会』主催の集会が開かれ、同志社大名誉教授浜矩子さん（オンライン）と日体大教授清水雅彦さんが講演しました。

憲法前文の精神に立ち戻れ

浜矩子さん講演の表題は『鮎侍男の大軍拡』、辛辣です。「あっちへフラフラ、こっちへフラフラ、鮎じゃ鮎侍じゃ」、



オンラインで講演する浜矩子さん

歌舞伎が描く吉良上野介の浅野内匠頭への罵詈雑言、ここから忠臣蔵は始まるわけです。「岸田は政界の『鮎侍男』、定見なくフラフラし、影響力がある人の言うがまま動き、いつ何時、戦争を引き起こすか分からない危険人物」と喝破。

経済活動は「人間を幸せにするべき営み」であるが、「大軍拡の下では経済活動は成り立たない」「戦争は人間を幸せにしない」「大軍拡下の経済活動は人権を侵害し、経済合理性が失われ、経済活動の自由が奪われる」と、大軍拡が社会に与える危険性を指摘。その上で、「平和主義に徹し、グローバルな平和主義が貫かれている憲法前文の精神に立ち戻ろう」と呼びかけました。

労組・市民・野党の共闘を

日体大の清水雅彦さんは、憲法9条解釈と憲法学会の意義を論じ、学会が自民党改憲



勢力の歯止
になってい
るが、保守
化傾向が顕
著と危惧し
ました。
『安保

三文書』にふれて、「アメリカの対中戦略に日本を巻き込むためのものだ」「ミサイルは全部は撃ち落とせない。日本海側に原発がずらりでは、実態論として敵基地攻撃は不可能。『反撃能力』というが、反撃対象が『中核や指揮系統機能攻撃』を含むので、相手国への全面攻撃だ」と問題点を指摘。

防衛費大増額で、「22年までの5兆円が、24年は7.9兆円、大学無償化は1.8兆円、小中学校給食無償化は0.4兆円、健康保険負担ゼロは5.2兆円でできる。金の使い方が根本的に間違っている。大増税が待っているのは明らか、金持ちは減税、庶民は増税になる」と批判。

「専守防衛に徹すべきで、9条改憲阻止のため『安保三文書』の具体的阻止が大事。『労組と市民と野党の共闘』により、政権交代へ」と結びました。

金権腐敗の 自民党政治糾弾

自民党「裏金」事件の糾弾国会が開催されている中、2月の19日行動が国会議員会館前で開かれました。

市民からの発言で、『宗教者ネット』は「自衛隊の靖国神社集団参拝は憲法違反」と批判、『ふえみん婦人民主クラブ』は「ウクライナに平和を！」と、『フェミニブリッジ』は「前橋市長選勝利は女性運動の勝利」とさらなる取組み強化を、訴えました。課題は山積です。



東京総行動

資本は大幅賃上げを行え！
不当解雇・不当労働行為許さない！

2月15日、「働く権利・働く者の権利・人間としての権利」拡充をめざし、争議の社会性を重視する一日

行動、『東京総行動』が行われ、退職者会は昼の経団連前行動を中心に取組みました。

毎年、春闘期に行われる経団連前行動は、『けんり春闘実



経団連は大幅賃上げと争議解決へ責任を果たせ！



トヨタはフィリピントヨタ不当解雇撤回へ社会的責任を果たせ！

行委』との共同の取組みです。

物価高と実質賃金低下で労働者が苦しむ一方、大企業は史上最大の内部留保を抱え込んでいます。「格差と貧困拡大の責任の一端は経団連にあり」と批判、また、不当解雇や交渉にも応じない企業の指導など「経団連は責任を果たせ」と、抗議のアピールをしました。

不当解雇、復職拒否等への抗議や、フィリピンでの237

名不当解雇に対する責任を果さないトヨタなど、企業の社会的責任を迫る行動を都内各地で行い、最後は165名を不当解雇したJALに抗議。

JALは、最高裁で不当労働行為が認定されているにも関わらず謝罪すら拒否しています。継続闘争を選択し既存労組から袂を分けたJAL被解雇者労組は、並行してJALとその後ろ楯国交省を相手に都労委闘争を闘っています。争議解決まで闘い抜く決意を示すJAL争議団、ガンバレ！



JAL争議解決へ高野中央支部書記長がアピール

能登地震被災者
支援のカンパにご協力ください

1月1日に発生した能登半島地震から2ヶ月を過ぎましたが、未だ多くの方々が厳しい寒さの中、過酷な避難生活を余儀なくされています。

亡くなられた方に哀悼の意を表します。また、被災されたみなさまには、心からお見舞い申し上げます。

23区は、2月下旬から1週交替で複数区ずつ被災地のごみ収集支援を取組んでいます。現役世代も頑張っています。

このたび、清掃退職者会としてできることをと、被災者支援のカンパを募ることにしました。是非、ご協力くださるよう、お願い申し上げます。

